



塩原八幡宮(本殿)



※出典: 国土地理院ウェブサイト(<http://maps.gsi.go.jp>)地理院地図を加工して使用。



逆杉(国指定の天然記念物)

私のまちの  
**近い**  
世界遺産

さかさすぎ  
**塩原八幡宮の逆杉**  
～市で最初の指定文化財～

現在、市内には国・県・市の指定文化財が178あります。その中で一番初めに指定された文化財、国の天然記念物の「逆杉」を紹介します。

Topic

二番目の指定文化財は？

逆杉が指定されたのが昭和12年。2番目に指定年月日が古いものは何かというと、昭和33年(1958)に栃木県の有形文化財となった「温泉神社石幢(せきどう)」です。塩原の新湯温泉神社の脇にあり、鎌倉期から室町期にかけて盛んだった地藏信仰の供養塔です。



温泉神社石幢

「逆杉」は、塩原八幡宮の境内にあり、推定樹齢は1500年とされています。一般的なスギの木に比べ、逆杉は地面に向かって垂れた太い枝が多いことからこの名がついており、市内の現存する指定文化財の中では最も早く、昭和12年(1937)に国の天然記念物に指定されています。

この木は2本が並び立ち、根元でつながった姿をしています。根元

康平5年(1062)、源義家(八幡太郎義家)が奥州征討に向かった際にこの地に泊まり、戦勝祈願の祭壇を丘の上に作り、竹の代わりにスギ2本を植えたのが、この逆杉であるという言い伝えが残っています。また、源頼義・義家親

子がここで食事をとった際、箸の代わりに用いた杉の小枝を地面に逆さに刺したものが大きくなったという言い伝えもあるそうです。

西側の杉が雄木(樹高約40m)、東側の木が雌木(樹高約33m)と呼ばれており、古くから夫婦杉としても親しまれてきました。夫婦が互いに助け合って成長する姿を思うと、縁結びのご利益もあるかも…？

ちなみに、逆杉のある塩原八幡宮の本殿も、市の指定文化財。塩原の歴史のストーリーを感じられる魅力的な場所となっているほか、パワースポットとも呼ばれています。